



夢に向かって

い き すい し やくしん
為己 遂志 躍清

R 5. 12. 1

NO. 15

文責：学校長

ご家庭でもぜひ話題に。進路意識向上のために

早いもので、今年ももう師走になりました。この1年を振り返り、そしてこの2学期を振り返る節目の月です。学校では2学期の生活を思い起こしながら自分の努力点や成長点を明らかにし、冬休み、3学期への課題を明らかにするところです。目標を掲げるだけに終わらず具体的な行動を考え、実践に移していくことこそが、一番重要なポイントです。

さて、3年生は11月に入試説明会を終え、今年度入試に再開する「面接」にむけた練習がスタートしました。自分が進学する理由や将来像をしっかりと持っていないとなかなか明確な受け答えができません。高校側も面接において受験理由や高校でどんな学びを期待しているのか、どんな意欲を持っているのかを確認する必要があります。「こんな学校と思わなかった、こんな勉強したいのではなかった」とやる気をなくしてしまう生徒を防ぐためにも、事前に高校のことを理解してきてほしいという願いがあるのです。面接点は60点となかなか高得点です。しっかりと高校のこと、自分のことを伝えられる力を身につけておきましょう。

1, 2年生のご家庭でも将来、進路のことなどを話題にして意識づけさせてみてはいかがでしょうか。いつも思うことは、「目標が明確になった人間ほど、言い訳なく努力を重ね、確実に力をつけていく」ということです。進路意識を高め、充実した中学校生活を送ってほしいと願っています。

2学期末テストが終了

11月28日、29日と2日間にわたって2学期末テストが行われました。テストが終わって一息ついたところですが、大切なのは振り返りです。テストの間違ったところを確認し、解答できるようになることはまず当たり前のことです。もう一つ大事にしてほしいところは、自分はこのテストにどのくらいの本気度で取り組んだのかという振り返りです。

藤沢地区小中学校では、テスト前ですが、家庭学習取組をしています。しかし前回の中学校の目標時間達成率はわずか63.1%でした。3人に1人は目標さえ、到達していないのです。部活動でも学習でも「苦しかった。やり切った。もう限界だ」などというまで自分を追い込んだ経験がなければ、本当の達成感、満足感を得られることはありません。

本気で取り組み、満足感、達成感を感じ何かを学習することは楽しいという経験をさせたいと思っています。さて今回はどのくらいの本気度だったのでしょうか。



・・・花壇ボランティアの皆さん・・・

時を守り 場を清め 礼を正す

※これは、藤沢中の生徒玄関に掲示している言葉です。この意味について後日、掲載したいと思います。お子さんと話題にしてみてください。

「友達について考える」

学校行事は普段と違う活動をするので、友達関係にも変化が現れることがあります。初めて一緒に活動する友達になって話をするうちに、今までに、自分が思っていた相手とは違うことに気づいて、新たな友達になったりすることもあります。

ある時、どんな人と友達になりたいのかと生徒に聞いたことがあります。「私のことをよく分かっていてくれて、困っているときにやさしく助けてくれる人」 そうですね、当たり前のことだけど、だれでも優しい人や正直な人を友達にしたいものです。しかしその時にそう答えた当人は、果たして、優しく、ウソをつかない、人にやさしい自分であるのかを自分自身に問うてみる必要があります。

あなたには友達が困っている時に助けてあげるだけの優しさを持っているのだろうか。自分が困っているときには助けて欲しいけど、相手が困っている時に助けてあげられない、この関係は友達（友情）とは言えないですね。

LINE繋がりや友達関係は友達、そのまた友達は・・・と既読や「いいね」を繰り返し、嫌われないよう、好かれるようにと本当の自分を出さない、薄っぺらいつながりがとても多いように思います。つながるのは早いけど、盛り上がるだけで中身のない薄っぺらな関係です。

友達というのは、いいところ、悪いところをありのままに見せ合い、認め合うことで本当の信頼（友情）になるのだけれど、今の中学生たち含む若い子たちは、ただ楽しければ、面白ければと、その場の楽しさや一時の淋しさの解消を求め合うだけの友達関係の中に自分を置いてるのではないのでしょうか。

最後に、友達として「楽しみを共有する友」と「悲しみを共有する友」のどちらが欲しいですか。双方の友達がいればそれに越したことはありませんが、どちらか一人だけとすれば、みんなはどちらを選ぶのでしょうか。悲しみは一人でこらえなければならぬのでしょうか。孤独に耐える力は必要ですが、悲しみを分かち合う友がいてくれたらきっと立ち直りは早いのだと思います。友達の本当の価値は、楽しい時や順調な時ではなく、困った時にこそ分かるものなのです。

「善友は助け合って成長し、悪友は誘い合って墮落する」

中国の思想家「孔子」の言葉です。

自分は、どんな友達が欲しいか、周りから見て今の自分はどんな友達なのか考えてみてください。